

雑誌月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



4月はロータリーの雑誌月間です。RIの公式機関紙「ザ・ロータリアン」および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月として定められています。各クラブにおいてもこの月間にはロータリー誌に関する何らかのプログラムを実施すること、とされています。

「2010年手続要覧」では「各会員は会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では「ロータリーの友」)を購読しなければならない」と定めています。皆様はロータリアンの三大義務(会費の納入、例会出席、ロータリー雑誌の購読)をご承知のことと思いますがこの中にも「ロータリー雑誌の購読」が入っています。「購入」ではなくて「購読」とされているのですが、なかなか読まれていないのが現状のようです。ちょっと読んでみると割に楽しく読めるのに、例会で受け取って帰って来てデスクの上に置いたが最後、1ページも読まないまま次号を受け取ってしまう…これは残念なことです。この雑誌月間を機に、読者が一人でも増えるように各クラブで創意工夫をして頂きたいと思います。

「ロータリーの友」の歴史について簡単に述べておきます。

1952年4月に第60地区の地区大会が開催されました。次の年の7月から日本の地区は「東日本」と「西日本」の2地区に分かれることが決まっていたので、この地区大会ではこれまで行動を共にしてきた日本のロータリアンが分割後も緊密に連絡を取り合い、情報を共有するために機関誌を作成することが企画されました。

この機関誌が「ロータリーの友」の前身のようなものです。

その後1953年1月から毎月発行することと名前を「ロータリーの友」とすることが決定されました。従って「ロータリーの友」は昨年で60周年を迎えたわけです。1977年、標準ロータリークラブ定款改訂により、ロータリアンはRIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことが出来るようになり、1979年7月から1年間の試験期間を経て、1980年7月号から「ロータリーの友」はRI公式機関誌となったわけです。

「ロータリーの友」は2003年7月1日にホームページを開設し、2007年3月から「Rotary Japan」の名称で情報提供を続けています。そして創刊60周年を過ぎた今「ロータリーの友電子版」がスタートしようとしています。電子版がどのような形で配付されるのか、内容はどのようなのか、購読料はどのようになるのかなど、色々と検討課題があるようですが、スタートすることは間違い無いでしょう。電子版スタートによって「ロータリーの友」の読者が増えることを願うばかりです。

最後に雑誌月間とは無関係ですが、ロータリーの友社が発行している広報誌についてご案内致します。2008年8月「Rotary 世界と日本」が創刊されました。2009年以後毎年8月にアップデートしています。A5判16ページの小冊子で、1セット(10冊)で525円です。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会、地域でのイベントなどの際にロータリアンでない人々に配って欲しいというものです。会員増強のツールになりそうですので、お勧め致します。